

特許紹介

第23巻第8號 昭和12年8月

高所作業に使用する足場装置

(特許第120254號 特許權者(發明者) 柳井竹造)

此の發明は、抜き挿し自在に順次挿入した數多の柱管(1)と、其の柱管より稍々短い長さ毎に段階(6)を附け、各柱管の内徑に適合するやう其の幅員を順次狭くした彈條帶(4)とより成り、柱管の下方に於て彈條帶を巻き取り或は伸長せしめて柱管を順次昇降伸縮し、柱管の上端

圖-1.

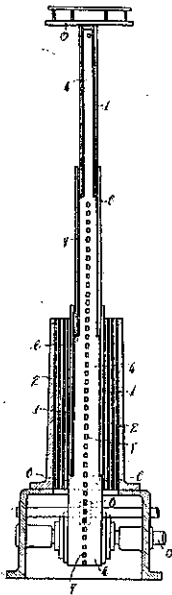
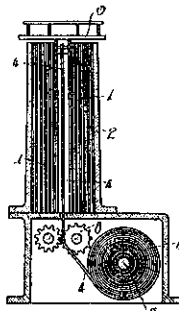


圖-2.



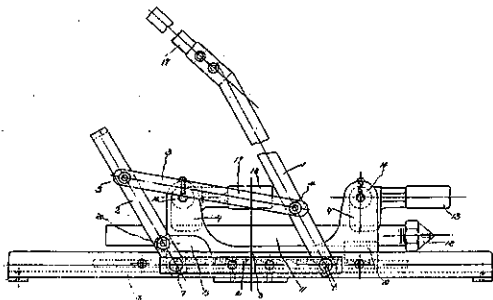
に設けた足臺を任意の高さに保持するやうにしたものである(圖-1, 圖-2)。

管埋設機の改良

(特許第120279號 特許權者(發明者) 新田朝雄)

此の發明は、構造簡單で堅牢且つ作業迅速確實なる管

圖-3.



埋設機を目的として考案したものであつて、把柄(17)の運動に依り上唇部(9)と下唇部(10)とより成る管挾持器を架臺(8)上に設け、之を基盤(18)上に移動するやうにし、架臺には鋸齒列(16)を設け、把柄(17)には爪杆(15)を取付け其の爪杆が鋸齒列に露合するやうにし、管挾持器の上唇部(9)を把手(13)に依り回動するやうに取付け、管体挾持した時管体の先端に向つて回動自在とならしめたものである(圖-3)。

セメント混合劑

(特許第120377號 特許權者(發明者) 船橋炭一)

コンクリート管用鉄筋の電気熔接装置

(特許第120375號(發明者) 池田江東男 特許權者(發明者) 帝國ニューシユーム鋼管株式会社)

此の發明は、筒狀に並列して進出する堅筋の上部に横筋を螺旋狀に捲付け、兩筋を簡單に熔接すると共に、管の長さの大小に拘らずコンクリート管用の鉄筋網を急速に製作し得る電気熔接装置の考案に係る。即ち、機枠(1)に回轉自在に裝着した鼓輪(2)の内部に円形の裝着板(3)を裝置して之を一方の電極(4)に接続すると共に、周圍に多數の透孔を設け、此の各々に堅筋(6)を貫挿し、鼓輪(2)の外部に緩く挿入した回轉環(7)に横筋(8)を捲裝し、之を鼓輪(2)の回轉に伴ひ他方の電極(9)を接觸せしめ乍ら堅筋(6)の外表面に螺旋狀に熔着して筒狀の鉄筋網(10)を形成し、之の後部に調整自在の輸送帶(11)と支承板(12)とを設け、且つ前部機構に聯動する鉄筋網送付裝置を裝設したものである(圖-4, 圖-5)。

圖-4.

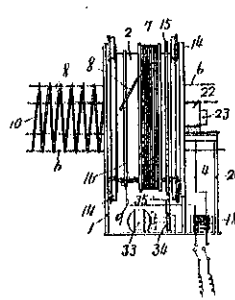
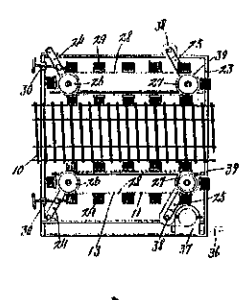


圖-5.

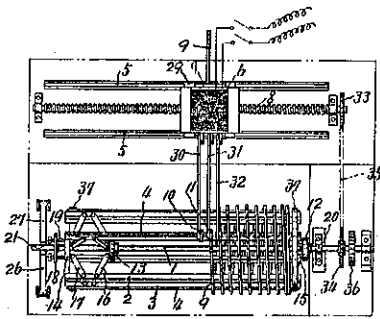


コンクリート管用鉄筋の電気熔接装置

(特許第 120570 號
特許権者 (發明者) 船橋俊一)

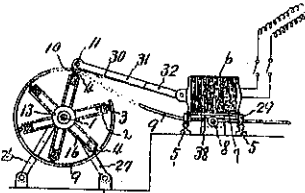
此の發明は、回転軸 (1) の周圍に數個の支持板 (2) を起伏自在に配設し、其の上而 (3) に堅筋 (4) を装着し、回転軸 (1) の側方に軌條 (5) を並設し、軌條 (5) に変圧器 (6) を装置した移動臺 (7) を架し、之を推進用螺

図-6.



杆 (8) に係合せしめ回転軸 (1) の回転に伴ひ、螺桿 (8) を驅動し臺 (7) を移動し、其の下部の送出部 (38) より横筋 (9) を給出し乍ら堅筋 (4) の上部に螺旋狀に捲付け、其の堅横兩筋に変圧器 (6) の電極杆 (30), (31) の極板 (10), (11) を接觸せしめて熔着するものである (図-6, 図-7.)。

図-7.

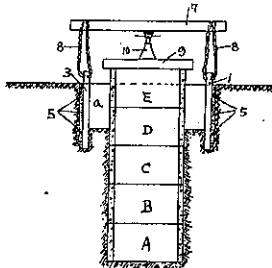


市街地建造物基礎急速施工方法

(特許第 120425 號 (發明者) 柳 一
特許権者 鐵道大臣)

此の發明は、施工に廣い場所と大なる機械を要せず短時日間に竣工し、特に繁華なる市街地に於て實施するに適する高架鉄道の如き建造物の基礎を構築するに適した施工方法を目的とした考案であつて、基礎柱体を築造せんとする個所に豫め準備したコンクリート製枠 (A) を

図-8.



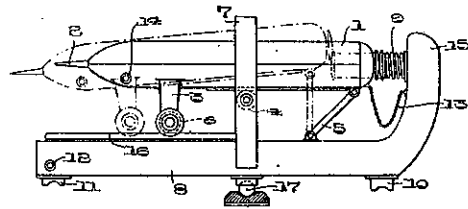
配置し、其の周圍を適當の大きさに掘下げ、横矢板等に依り假枠を設け此の上に横梁 (7) を渡して繋着して假枠をしてジャッキの反動力を負擔するやうにし、横梁 (7) とコンクリート枠 (A) との間にジャッキ (10) を装置し、コンクリート枠内の土砂を排除しながらジャッキに依りコンクリート枠を圧下し、時々前記横梁とジャッキを取外してコンクリート枠を継ぎ足し、之を繰返して強力な地盤に達した時底部コンクリートを打ち、コンクリート枠内に鉄筋を配備し、練りコンクリートを充填して基礎柱を構築するものである (図-8.)。

鑿 岩 機

(特 第 120480 號
特許権者 (發明者) 青木徳次郎)

此の發明は、先端は尖鋭な鑿刃 (2) を有する砲弾形重錘 (1) を基臺 (8) の軌條 (16) 上に滑走自在に載架し、重錘の後脚 (5) は其の端を重錘並に基臺 (8) に關着し、後端面に反撥用螺旋撥條 (9) を備へ、尙基臺 (8) は其

図-9.



の中央部に於て積杆様に傾着支持せしめた鑿岩機であつて、之に依り輕微なる勞力に依り重錘を往復動させ鑿刃を岩石に激突させ容易に鑿穿せしめんとするものである (図-9.)。

(附) 登録實用新案

土質標本採取三重錐心管

(第 25730 號 公告 11 年第 14514 號)
(實用新案權者 長谷川作太郎)

不凍水道栓

(第 25764 號 公告 12 年第 1185 號)
(實用新案權者 株式會社 松尾工場)

不凍式給水栓

(第 25765 號 公告 12 年第 1186 號)
(實用新案權者 中西角太郎)

セメントモルタル噴射器

(第 5887 號 公告 11 年第 17220 號)
(實用新案權者 大沼長太郎 (一))

(吉 藤 幸 朔)